

平成 29 年度 ふるさと館事業計画（案）

1. ふるさと学習の推進

1) 学校教科にあわせた学習支援

学校の学習単位にあわせて館内の資料を使いながら、体験とともに学習を深められるメニューを用意する。

例：昔の暮らし体験（体験メニュー：石臼、洗濯板、唐箕、火起こし、勾玉作り など）

○市内・市外 小・中・高校による見学・体験の受け入れ、総合学習など学習、研究の支援

○民宿等（セカンドスクールなど）による見学・体験の受け入れ

○出張講座 市内小学校クラブ活動への出張、関連授業への出張講座（昔の道具、考古など）

2) 伝統文化の保存・活用

○地域の年間行事、歴史など伝統文化を学ぶための体験教室・講座

6月「笹もち作り」 12月「しめ縄作り」 1月「まゆ玉作り」 2月「やしょうま作り」

2. 企画・イベントの開催

1) 企画展

①企画展「シリーズ いいやま風土記 『飯山街道をゆく』」（4月20日頃～6月末）

市内各地の歴史を順次紹介するシリーズ。飯山街道に関する歴史や街道にまつわる文化財を紹介する。

*現地学習会「飯山街道を歩こう」5月中旬

②企画展「ふるさとの‘衣’～歴史と変遷～」(7月中旬～9月)

飯山地域における‘衣’の歴史・変遷をたどる。古布や古布を再利用した生活用品も紹介したい。

*体験講座「古布を使った作品作り」8月中旬

③企画展「飯山藩主 本多氏 入封 300年」(10月～12月)

享保2(1717)年、糸魚川から本多氏が入封して300年となることを踏まえ、飯山城最後の藩主本多氏の時代や、幕末から明治期にかけての城の終わりまでを紹介。*学習会「幕末の飯山城」11月頃

④企画展「城下町ひな街道 ひな人形展」(2月～3月)

商店街と連携し、城下町飯山のひな人形展の開催

2) 他館と連携した地域学習への取り組み

公民館と共催の学習会や観光課と連携した地域の歴史文化の紹介など。

3) 学びのエリア「秋まつり」の開催

市の社会教育・生涯学習の拠点である学びのエリアのなかで、ふるさと館の資料や友の会・市民学芸員などの特技を活かしテーマを設けたイベントを行うことで、より多くの来館者に地域の歴史や文化を紹介する。

3. 情報発信

企画展や学習会、体験教室などの情報を随時ホームページや市報などに掲載し、新鮮な話題・情報を提供する。

4. ふるさと館友の会関係

・友の会先進地視察(年2回) ・会誌「奥信濃文化」の発刊(年2回) ・友の会各部会

・友の会総会 ・友の会だよりの発行

5. その他

1) 寄贈資料の受け入れ、整理、保管

2) 中学校・高校・教職員研修等の職場体験実習の受け入れ など